

第26期・第2回「第1部会総合ジェンダー分科会」議事録

日 時：令和6（2024）年9月22日（日）9:00～11:00

参加者：岩井紀子、臼井恵美子、島岡まな、嶋田洋徳、高橋裕子、芳賀満、原田範行、野口
晴子、三尾裕子、小島優子、二神枝保、三浦まり、三成美保、後藤弘子

場 所：オンライン会議

議事録：臼井恵美子、芳賀満

議事録

（1）前回議事要旨の確認

異議なく承認された。

（2）役員の選出

- 委員長 …三尾裕子
- 副委員長…島岡まな
- 幹 事 …臼井恵美子、芳賀満

（3）分科会の進め方

分科会設置提案書を基にした、設置目的、審議事項、設置期間等の説明があった。
今後の分科会の進め方について議論し、タイトルラインに関する勉強会の開催や「人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会」(Gender Equality Association for Humanities and Social Sciences, GEAHSS 略称ギース)との連携強化を実施する旨の説明があった。

（4）シンポジウムについて

3件のシンポジウムについて説明があった。

①公開シンポジウム「ジェンダー・エクイティへの取り組み～ナショナルセンターの役割と将来への期待～」の開催について

日時：10月10日（木）18:30～20:00（オンライン）

主催：日本学術会議科学者委員会ジェンダー・エクイティ分科会

参加申し込みは、日本学術会議のホームページに掲載されているポスターから可能であるとの報告があった。

②「第6次男女共同参画基本計画に向けた日本学術会議の期待（仮）」

日時：令和6年（2024年）12月22日（日）13:30～17:00（オンライン）

第一部総合ジェンダー分科会、第二部生命科学ジェンダー・ダイバーシティ分科会、第三部理工学ジェンダー・ダイバーシティ分科会と共催することが承認された。

③「ジェンダー論と政策にかかわる言語・文学の問題意識と学術的貢献の可能性」というテーマで、初等・中等教育関係者、言語文化論の関係者、表現者、ジェンダー論の専門家、コメンテーターを招いたシンポジウムを計画していることが報告された。このシンポジウムは第25期に企画・立案されたシンポジウムで、今期中の開催に向けて取り組む。